

わたしおぼ  
いちばんふる  
きおく  
私が覚えて  
いる一番古い  
記憶で  
くりかえし  
読んでいた  
絵本が

あります。その  
名も

「グリーンマン  
とピーマンマン」

なかむらけいじ  
中村景児  
絵



なぜそんなに  
くりかえし  
読んで  
たかという  
と...



あら、また  
その絵本？  
すぎねのねー

ピーマンが

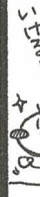
とても

苦手だった

から。

「子どもからも野菜たちからも嫌  
われ者の泣き虫ピーマン。しかし  
自分たちには菌をやつつける  
力があることを知ったピーマン  
たちはピーマンマンに大変身！」

なんだかこの絵本を読んでいたら  
ピーマンをおいしく食べられるんじ  
やないか...という気持ちになりました。



でも

やっぱり

おいしくない

わけですよ。

それでも

「つぎはこの絵本の

子どもたちみたいに

ピーマンをおいしく

食べられるかも...」

と思っちゃう。

そしてやっぱり苦い...

好きじゃない...

でも次こそは...

そうやってくりかえし  
読んでいた絵本です。



3月3日に楓の森中学校を

卒業する3年生へ合志市内の

学校図書館で初めて借りた

本のタイトルを載せたしおりを

卒業記念にお渡ししました。

そのしおりが「あのころ」に戻れる

ちいさな鍵になれたらいいなあ

おもっています。

あの頃の自分、

に配したくても、いすれ

「夏だ☆ワッショイ☆

ピーマン祭...」って

言ってるよ...」って

言ってるよ...」って

ご卒業おめでとうございます。

楓の森図書室 堀田

